

令和元年度 学校運営協議会委員による学校評価 （評価は 4、よくできている 3, できている 2, あまりできていない 1, できていない）

## 1 学校経営全体に関すること

評価項目	評価	学校運営協議会委員による課題や改善策等
① 学校の目指す学校像・子ども像は、地域や子どもたちの実態に合っている。	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営方針や子どもの姿が、学校運営協議会でしっかりと知らされ、熟議の内容となった。学校としての取組はよくやっていたらと思うが、PTA 役員や学校運営協議会委員ばかりでなく、区長や役員など一般市民にも、さらに子どもたちの様子や学校事業に関心をもってもらえるよう努めたい。</li> <li>・学校運営目標の骨格は大きく変わりはないと思うが、社会の急激な変化に対応できる柔軟な発想は必要かと思います。また、目標設定には、学校主体になることはやむをえないと思うが、保護者が今、学校教育に何を求めているか分析することも大切です。</li> <li>・「知徳体」の「徳」の部分・・・思いやる子が多くいる学校であってほしい。</li> </ul>
② 学校の教育目標、重点目標、学校の様子等を、学校便り等により保護者や地域にわかりやすく説明するなど、積極的に情報発信に努め、地域に開かれた信頼される学校づくりに取り組んでいる。	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だより等で、学校の様子が校区内全体に知らされている。</li> <li>・Facebook 等で情報発信しているのは、いいと思う。ただもっとこまめに更新をしてほしい。午前5校時制などの変更をFacebook 等、ネットに載せてほしい。</li> <li>・地域への情報発信は、「新芽」によってしっかり発信できていると思います。校長先生の思いも載せられていて、気持ちが伝わってきます。</li> <li>・ホームページでも、写真や動画なども加わり、「新芽」などにも載せられていて拝見することができ、児童の様子が伝わります。</li> <li>・学校運営協議会に参加させていただいていることで、大原小学校の様子、教育目標等をよく知ることができますが、保護者や地域の方には学校の方針やどんな強み(特色)があるのか、また先生方の頑張りがうまく伝わっていないように思います。先生方の、学校をよくしたいという熱意を感じるだけに、もっとたくさんの方に学校に関心を持ち、関わっていただけるよう、情報発信していけるとよいと思います。</li> <li>・スローガン等を地域の方へ発信するための横断幕ができたことで、地域・保護者がいつでもスローガンを目にすることができて、よいと思う。</li> </ul>
③ 校長のリーダーシップのもと教職員が課題を共有し、学校の教育目標達成に向け、一丸となって取り組んでいる。	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校では、情報交換する場として、職員会議や週1・2回の会議を持たれています。このことは、より深く問題などを共有でき、学校全体で対応できるので、早期発見につながり、教師間の溝を埋め、問題解決につながっていくと思います。</li> <li>・ニュースなどで上司への報告ができていなかったなどから、重大なことへの発展していく事件を耳にすると悲しく不安です。そのようなことが起こらないように、学校全体で課題を共有し、的確に対応できるよう、実践・経過・取組の成果において、先生方の意識を高め合うためにも、校長先生のリーダーシップのもと、いっそう体制を確立してほしいです。</li> <li>・「笑顔と活気と自信に満ちた『大原っ子』の育成」という学校教育目標は、家庭・学校・地域からの愛情なしでは達成できません。学校だより「新芽」8月29日号も書かれてありますが、「あきらめない心」を育てるためにも、みんなから愛されていると感じることが重要です。そう実感できるような学校環境にさせていただきたいです。こう育てなくちゃ、と思う前に、その子の存在を認め、愛する内容も加えられるといいなと思います。「ひとにやさしく自分にまけない」は、子どもも大人も心がけたいこと。常に視野に入ってくるよう、横断幕を作っただけ、よかったです。地域が一丸となり、志していきたい。そのためにも、周りの大人を見て子どもは育つので、地域の大人、家庭、学校で模範が見せられるようにしていければと思います。</li> </ul>

## 2 自立した人間として生きていくための総合的な力「人間力」を育む教育の充実

評価項目	評価	学校運営協議会委員による課題や改善策等
<p>① 学校は、あいさつ運動の推進や道徳教育の推進、いのち・人権を大切にすする心の教育の推進および「いじめのない学校づくり」に向けていじめの未然防止・早期発見・早期解決に積極的に取り組んでいる。</p>	<p>3.1</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめのない学校づくりに、児童会の活動や日頃の関係会議、先生方の情報共有を通じて、積極的に取り組まれている。</li> <li>・あいさつ運動はさらに活発化させ、保護者・地域住民もまきこんだ形で推進できるよう、今後も努めたい。</li> <li>・入学式や運動会などの学校行事に、子どもがしっかりと取り組んでいる姿が見られてよかった。</li> <li>・集団登校時に「おはよう」等の声かけをしているが、春先の様子とは少し変わって、笑顔を見せたり、小さな声であるが挨拶を交わせる子が増えた。</li> <li>・朝の立ち当番時に、挨拶はしっかりとできていると感じた。ただ、上級生になるにつれて、挨拶はできるが、下を向いている子が多く感じる。</li> <li>・挨拶してくれる児童が多くなったように感じます。人間関係を形成していくうえで大切な挨拶ですが、あいさつ運動なども活発にされ、成果があらわれているのではと思います。今後も続けていただき、まちが元気な挨拶でいっぱいになるようにしていただきたい。地域の元気の源であってほしいと願います。</li> <li>・トラブルの時の対応は速く、努力されていると思う。</li> </ul>
<p>② 学校は、児童生徒が社会性や規範意識を身につけ、望ましい勤労観や職業観を育てる系統的なキャリア教育に努めるなど、自己指導力を培う教育に積極的に取り組んでいる。</p>	<p>2.8</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校当局のご努力は十分伝わっているが、一般にはその効果が見えにくい。今の子ども達の現状から見て、相当危機レベルにあると言える。特に、生きる力や基礎体力の低下が心配である。社会に出れば、甘えは一切許されない。わかりやすく言えば「知識」よりも「知恵」を与えていただきたいと願います。</li> <li>・ボランティア「福祉」分野を、総合的な学習に取り入れ、いろんな体験をするのはとてもいいことだと思います。また、他の人に喜んでもらえることを実感できることは、将来必ず、望ましい職業観につながると思います。</li> <li>・小学校では、他の人に喜んでもらえる体験や、自分がうれしかった体験をするのが、将来につながるのではないかと思います。また、不思議に思うことを探求していくことも、将来につながっていくと思います。</li> <li>・学校は、家庭では得ることのできない、多様な人間性、様々な価値観、常識感覚、社会のルール、人とのつき合い方など、教科の学習以外に本当にたくさんの事を学べる大切な場所だと思います。ただ、「人間力を高める」ことは、家庭環境や親の力も大きく影響すると思うので、学校に全てお任せするのではなく、子育て期に親がすべき事を、各家庭がしっかりと考え、子どもに丁寧に関わらなければいけないと感じます。</li> </ul>
<p>③ 学校は、児童生徒が運動やスポーツに親しみ、体力の向上を目指す教育の推進に取り組んでいる。</p>	<p>3.0</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームが遊びの主流になっている中で、体を動かす楽しさをどんどん感じてほしいと思います。</li> <li>・ゲームの時間が増える中で、やはり体を動かし、汗を流すことの爽快感を感じてほしい。先生方のアンケートの結果にもあったように、10分間運動がなくなったのは残念です。体力テストにも影響が出ると思います。朝の運動に軽い体操など取り入れてはどうでしょうか。</li> <li>・校長先生から、朝の目覚めが悪い、眠そうというお話を聞きますが、朝運動すると目覚めにも体力づくりにもよく、一石二鳥かと思います。「早寝、早起き、朝ごはん」の大切さを家庭に問いかけ続け、次に学校で何ができるかを模索しながら、やっていただきたいです。</li> <li>・マラソン大会は、とてもよい取組だと思う。精神的にも体力的にも力をつけられると思う。冬だけでなく、普段から(夏以外)されるといいのではと思う。</li> </ul>

### 3 個性を生かしつつ一人ひとりに確かな学力をはぐくむ教育の充実

評価項目	評価	学校運営協議会委員による課題や改善策等
<p>① 学校は、市や全国の学力学習状況調査の結果を分析し、児童生徒の実態に応じた学力向上策を立て、新学習指導要領に向けて、児童生徒の思考力・判断力・表現力を育むため、「話す」「聞く」「読む」「書く」活動を大切にしながら取り組むなど授業改善に学校全体で取り組んでいる。</p>	<p>3.0</p>	<p>・実際に授業参観や、この事についての話し合いに参加していないので、評価しにくいです。もし、学校運営協議会がこのことについて踏み込む必要があるのなら、研究会などの場にも出席を必要とするのではないかなと思うが…。</p> <p>・「書く力」は向上しているようなので、今後は「話す力」「聞く力」「読む力」も向上できるように、授業改善でできればいいと思う。</p> <p>・午前5校時制に変えて、集中できる環境づくりに取り組まれていて、その成果が出ているので素晴らしいと思います。お話をさせてもらった時の、聞く態度は微笑ましく、静かに聞き入ってくれる。全校集会で、児童が発表する内容も大変よかったです。みんなで群読したり、大きな声を出して発表することが楽しいと感じられるよう、取組をさらに続けてほしいと思います。</p> <p>・感じる事が人それぞれ違い、自分の不思議に思うことを調べていく、そしてわかる、自分を見つめ直す時間を少しずつ作っていくことが、キャリア感にもつながっていくと思うのですが、こういうこともこれから大事なかなと思います。</p> <p>・昨年、若者の読書離れ、読解力の低さが話題になったことから、読み解き、表現する力を強化する取組を増やしてほしいと思います。日本語の面白さや心が豊かになる実感がもてるような国語の授業になるとよいと思います。</p>
<p>② 学校は、英語教育に特に力を入れ、児童・生徒のコミュニケーション能力の育成や国際理解教育の推進に積極的に取り組んでいる。</p>	<p>3.3</p>	<p>・英語活動に関しては、先進的な取組がなされていて、積極性を感じます。</p> <p>・英語教育の充実も大切ですが、国語教育の充実が先のように思います。読解力、文章力が伴わなければ、外国人とのコミュニケーションは、まず内容が伝わりません。日本語は奥が深いです。基礎学習よろしくをお願いします。</p> <p>・英語教育に力を入れておられるので、小学生のうちに英語を楽しむ感覚、コミュニケーションとして、実際に使える力(会話力)がつくといいと思います。</p>
<p>③ 学校は、特別支援教育推進のため、管理職およびコーディネーターを中心に、組織的に取り組み、生活や学習上の困難を克服するための適切な個別の教育的支援を行い、個々の能力を最大限に伸ばす指導を行っている。</p>	<p>2.9</p>	<p>・いろいろなお子さんがいると思いますが、個性として温かく受けとめてあげて、良い部分を引き伸ばす教育的配慮をよろしくをお願いします。</p> <p>・特別支援の教育において、一人ひとりのめあてがあまりに違いすぎると、できることもできなくなったりするのではないかなと思います。やはりそれぞれにつく大人が必要だと感じます。ほかの児童と一緒にというのが難しい場合、一緒にするのが目的なのか、作品を作り上げることが目的なのか、児童の気持ちに沿って、定めることが重要ではないかなと思います。</p> <p>・特別支援が必要な子ども、集団の中で足並みそろえて学ぶことが難しい子どもたちのために、一人ひとりの個性や発達のペースに合わせた指導、個に応じた学びのスタイルを大切にしてほしいと思います。</p> <p>・今後も、どの子も輝けるよう、特別支援教育に特に力を入れてほしい。未来ある子どもたちのため、最大限の努力をしていただきたい。</p>

#### 4 地域に根ざし地域に開かれた信頼される学校の創造

評価項目	評価	学校運営協議会委員による課題や改善策等
<p>① 学校は、地域の人材を生かした学校運営と学習活動の工夫に積極的に取り組み、郷土の自然や文化・伝統を生かした教育活動の推進など特色ある学校づくりを推進している。</p>	<p>3.4</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有効なボランティアリストの作成を考えていく。</li> <li>・たてわりウォークラリーに参加したが、もっと色々と参加できればいいと思う。</li> <li>・以前されていた「大原フェスティバル」、各クラスでは自分たちでお店を作り上げていき、全校の児童、地域の方にもお客さんとしてきていただくという活動がありましたが、土曜日にされていて、地域の小さな子どもや兄弟、お家の方も参加できました。自分たちで作りに上げていく力も付きます。こういった行事をもう一度できないものではないでしょうか。</li> <li>・ウォークラリーでは、縦割りで班を作られ、学運協委員として、一緒に班について回らせてもらいました。児童は、自分たちで考え、行動力もあり、上の学年が下の学年を思いやる姿が、大変印象的でした。来年は、もう一歩踏み込めるといいと思います。</li> <li>・今の子どもたちは、自分の生まれ育った土地のことをよく知らず、地域の人との関わりも少ない。私たち親世代も、そんな育ち方をしてしまっているように感じます。学校、家庭という狭い環境から、地域や広く社会に視野を広げることで、興味・関心の幅を広げ、将来何がしたいか…職業観、人生観が身に付き、「学ぶ動機・目的・目標」が持てるようにしてあげたい。地域の力をどう学校に結びつけていけばよいか、また学校の側から地域に連れ出し学ぶ機会をもっと増やしていけないか、コミュニティ・スクールとして考えていけたらと思います。</li> </ul>
<p>② 学校は、安全・安心な学校づくりに向け、職員研修の実施や家庭・地域・PTAとの連携による取組により、児童生徒の安全を確保している。</p>	<p>3.6</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親世代は、地域参加に中々出ていけないこともあり、まして子どもはより接点が少ないのでは。そんな中、学校が地域に支援を求めようとするには、工夫と仕掛けが必要かと思えます。まずは地道に、学校支援サポーターを増やしていくことが大切ではないでしょうか。</li> <li>・保護者、児童アンケートで、児童に向けては「気軽に相談できる」、保護者には「クラスの様子を伝えている、家庭への連絡など連携をとった取組ができていく」などの項目がマイナスになっているのが気になります。保護者も一緒に、先生が親しみやすい環境の中で、悩みごとなどを相談できる場であってほしいと思えます。</li> <li>・スクールガード等で登下校時の安全に対する取組ができていく。引き渡し訓練を実施されていてよいと思う。子どもたちの安全を考えて、時間通りの下校時間は守ってほしい。</li> </ul>
<p>③ 学校は、学校支援地域本部事業・学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を活用し、地域コーディネーターを中心に学校を支援する体制づくりに努め、積極的に地域に働き掛け、創意工夫があり実りのある教育フォーラムを開催するなどしている。</p>	<p>3.6</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育フォーラムの内容や参加者について改善を図る必要があるのではないかと考える。</li> <li>・学校・家庭・地域でできること、それぞれに期待することを、もう少しはっきりとさせていく。</li> <li>・地域コーディネーター・学校運営協議会委員としての務めが果たせていない反省がある。</li> <li>・CSは、今年が1年目なので手探りではあったが、横断幕・ステッカーなどで、認知してもらえたと思う。</li> <li>・我が子とともに、周りの子どもたちみんながよい子に育ってくれるよう、周りの大人がみんなを支え合えるようにステッカーや横断幕を作っていただいて、大変良かったと思います。児童にも、地域の方にも示していけることは、行動につながりやすいと思います。</li> <li>・コミュニティ・スクールとして、一年目から、旗づくりや横断幕など、活動的にしていただいたと思います。竹とんぼづくりや図書支援活動、読み聞かせ、スクールガードさんなど、ボランティアさんによる活動を盛んにしていただき、今後も続けてほしいと思います。1学期に一回、1時間を使っての図書ボランティアによる読み聞かせは、児童たちも楽しく聞いてくれていて、私たちも絵本を通じて時間を共有でき、つながりを感じられます。</li> </ul>